



このたびは、**AudioComm®** ワイヤレスアウトドアスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

| <span></span> |   |
|---------------|---|
|               |   |
| 主な仕様          |   |
| 電源            | DC5V(USB-C給電)   |
| 内蔵バッテリー       | リチウムイオン充電池(3.7V 1200mAh)  |
| 実用最大出力        | 5W  |
| スピーカー         | 口径44mm(4Ω)フルレンジスピーカー×1<br>パッシブブラジエーター×1   |
| SN比           | ≧70dB   |
| 再生周波数帯域       | 60Hz～18kHz  |
| 接続端子          | USB-Cポート(給電)、microSDカードスロット、AUX IN端子(φ3.5mmステレオミニジャック)  |
| Bluetooth     | 通信方式：Bluetooth標準規格 Ver.5.3<br>プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP<br>コーデック：SBC<br>変調方式/周波数帯域：GFSK / 2.402～2.480GHz<br>最大通信距離：見通し 約10m(Class2) |
| microSDカード    | FAT・FAT32・exFAT 最大32GB<br>ファイル形式：MP3、WAV、FLAC   |
| 内蔵マイク         | 全指向性 感度：-42dB   |
| 充電時間          | 約2時間(残量ゼロからフル充電まで)  |
| 連続使用可能時間      | 約5時間(50%音量)   |
| 許容動作温度/湿度     | 温度：5～35℃ 湿度：35～80%(結露なしにて)  |
| 防塵防水保護等級      | 防塵6級(耐塵形)：粉塵が中に入らない<br>防水6級(耐水形)：いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない   |
| 外形寸法          | 幅100×高さ53×奥行83.6mm(突起物、ストラップを除く)  |
| 質量            | 約250g   |
| 付属品           | 専用充電コード、φ3.5mmステレオミニプラグコード、保証書、取扱説明書  |

※最大通信距離、充電時間、連続使用可能時間は目安であり、使用状況によって異なります。また、充電時間は充電器の容量によって充電時間が長くなる(もしくは短くなる)場合があります。 ※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。 ※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。 ※記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。 ※本書の図版は、実際の製品と一部異なる場合があります。

## お手入れのしかた

- 濡れたときは、必ず使用後に乾いた布で拭いてください。
- 表面が汚れたら、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどい場合は、水を布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後から拭きをしてください。
- シンナーやベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。



シンナー、ベンジン、アルコールは使用しない

### 免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

### 安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階に表示しています。

|   |  |
|---|--|
| <b><span>⚠</span> 危険</b>  | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。 |
| <p>充電式電池(リチウムイオン充電池)が液もれしたときは、素手で触らない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●本製品には充電式電池(リチウムイオン充電池)が内蔵されています。万一、液もれしているのを見つけたら、素手で触らず、弊社お客様相談室にご連絡ください。</li> <li>●万一、液が目に入った場合は、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。失明の原因となるおそれがあります。</li> <li>●液がからだや衣服についたときも、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときは医師に相談してください。</li></ul> |  |

|  |   |
|--|---|
| <b><span>⚠</span> 警告</b>   | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。 |
| <p>心臓ペースメーカーなどの医療機器を使っているときは、装着部位から22cm以上離す</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●電波により心臓ペースメーカーなどの医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。</li></ul>                                  |   |
| <p>雷が降り始めたら、安全のため、本機及び充電コードに触れない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●感電するおそれがあります。</li></ul>  |   |
| <p>万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに使用を中止する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。</li> <li>●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。</li></ul> |   |

万一、内部に異物などがに入った場合は、すぐに使用を中止する

- そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 販売店または弊社お客様相談室にご連絡ください。

分解、修理、改造しない

- 火災・感電の原因となります。

自動車の中や直射日光の当たる場所、火のそばなどでは使用しない。
また絶対に放置しない

- 高温になると、危険を防止するため充電式電池(リチウムイオン充電池)が充電できなくなったり、保護回路が壊れて異常な電流や電圧で充電され、発熱、破裂、発火の原因になります。

本機や充電コードの上に重いものをのせない

- 破損や故障、コード損傷による火災・感電の原因となります。

充電コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない

- コードが破損して火災・感電の原因となります。

航空機内や医療機器の近くで使わない

- 電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。

付属の充電コード以外では充電しない

- 火災や感電、機器の故障の原因となります。

火の中に入れない

- 本製品には充電式電池(リチウムイオン充電池)が内蔵されており、誤って火中に入ると、発熱、破裂、発火の原因になります。

|  |   |
|--|---|
| <b><span>⚠</span> 注意</b>   | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。 |
| <p>小さなお子様の手の届かないところに保管する</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●思わぬ事故をまねくことがあります。</li></ul>      |   |
| <p>長時間、大音量で聴き続けない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●聴力障害などの原因となることがあります。</li></ul>          |   |
| <p>充電時以外はポートカバーを確実に閉める</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●ほごりの侵入や水滴、湿気の付着を防いでください。</li></ul> |   |

|  |   |
|--|---|
| <b><span>⚠</span> 注意</b>   | この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。 |
| <p>長時間、水に浸けない。水中に沈ませない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●本機は完全防水ではありません。故障や感電の原因になります。</li></ul>  |   |
| <p>暖房器具や調理器具の近くなど、油・蒸気・熱のあたる場所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●破損・故障の原因となります。</li></ul>  |   |
| <p>振動や衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた場所など、不安定な所に置かない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●落下してけがをする可能性があります。また、破損・故障の原因となります。</li></ul>   |   |
| <p>キャッシュカードなどの磁気カードを近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれるおそれがあります。</li></ul>  |   |
| <p>充電コードを熱器具に近づけない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。</li></ul>  |   |
| <p>シンナーやベンジン、アルコールなどで拭かない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●変形・変色の原因となります。</li></ul>  |   |
| <p>自動制御機器(自動ドアや火災報知器など)の近くで使わない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●電波の影響で誤作動の原因になるおそれがあります。</li></ul>  |   |
| <p>充電コードのプラグを抜くときは、コードを引っ張らない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。</li> <li>●必ずプラグ部を持って抜いてください。</li></ul>  |   |
| <p>日本国以外では使用しない</p> <ul style="list-style-type: none"><li>●本製品は日本国内専用です。日本国内で正規に販売された接続機器以外との接続による安全性は保証いたしかねます。</li> <li>●国によって電波使用制限が異なるため、海外で本製品を使用した場合、罰せられることがあります。</li></ul> |   |

## 充電式電池について

**絶対に交換しないでください。誤って交換すると爆発する危険があります。**

- 充電式電池(リチウムイオン充電池)は消耗品であり、正常に使用した場合でも経年により劣化します。
- 充電式電池はリサイクルできます。廃棄については各自治体にご相談ください。

## 防塵防水保護等級について

|             |  |
|-------------|--|
| <b>IP66</b> | <b>→</b> 防塵性能/耐塵形：粉塵が中に入らない                        |
|             | <b>→</b> 防水性能/耐水形：いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けない |

本機はJIS C 0920:2003(IEC 60529：2001)による保護等級「IP66」仕様となりますが、以下の点にご注意ください。

- 水中につけないでください(完全防水設計ではありません)。
- ポートカバーを確実に閉めてください。また、水分がポートカバー周辺に付着したら、使用後早めに拭き取ってください。
- 防水保護等級は常温・真水使用下での性能です。石けんの泡やオイルの付いた手で触らないでください。水分が浸入する可能性があります。
- ドライヤーで乾かさないでください。密閉部が変形する可能性があります。
- 充電端子部が濡れたまま、充電しないでください。感電したり、ショートするおそれがあります。
- 水の浸入による故障につきましては、保証期間内でも有料修理となります。

## microSDカードについて

本機で再生できるmicroSDカードは以下のとおりです。

| 規格                    | 容量     | ファイル形式             | ファイル・フォルダー構成                               |
|-----------------------|--------|--------------------|--|
| FAT<br>FAT32<br>exFAT | 最大32GB | MP3<br>WAV<br>FLAC | 最大ファイル数：65535<br>最大フォルダー数：65535<br>(最大9階層) |

※上記に該当する場合でも、書き込み時の状況やmicroSDカードの質などにより、再生できない場合があります。



※ファイル・フォルダー数は上記のとおりです。本機は基本的にデータ作成日時の順で再生しますが、ファイルやフォルダーの作成/コピー状況などにより異なります。実際の再生順でご確認ください。

※データ量の大きいファイルが含まれていたり、フォルダー数・ファイル数が多い場合、読み込みや再生に時間がかかることがあります。

### Bluetoothについて

Bluetoothは、比較的距離の短いデジタル機器間(最大約10m以内：Class2の場合)で通信を行なう無線技術です。ケーブル類で2つの機器をつなぐ必要がなく、手軽に音楽などを楽しむことができます。

**バージョンとプロファイル**：本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。ご使用にあたっては通信相手となるBluetooth機器も、同じプロファイルに対応している必要があります。
※すべてのBluetooth機器との接続・動作を保証したものではありません。
※同じプロファイルに対応していても、性能・機能が制限される場合があります。
**通信可能範囲**：本機の通信範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

**セキュリティ**：本機は標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社は一切の責任を負いませんのでご了承ください。
**機器認定について**：本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼付または印刷されている定格銘板をはかしたり、消したりする行為は、法律により罰せられることがあります。本機は日本国内でのみ使用できます。
  204-B00955

**使用周波数と注意事項**：本機の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されています。
・ご使用の前に、近くでこれらの無線局が運用されていないことを確認してください。
・万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室(保証書参照)にご連絡いただき、混信回避のための処置についてご相談ください。
・そのほか、特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や不透明点がありましたら、弊社お客様相談室までお問い合わせください。

|   |
|---|
| <p><b>医療機器近くで使用する際は、特に注意してください</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>●使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止する。</li> <li>●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離す(ペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります)。</li> <li>●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使わない。手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。</li> <li>●医療機関内で無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切る。ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。</li> <li>●無線機器の使用が制限された区域では、医療機関による使用制限や使用禁止指示を必ず守る。使うときは、事前に施設管理者などに確認する。</li> <li>●その他の場所で使うときでも、混雑している状況下では、十分注意する(周囲に植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を使用している人がいる可能性があります)。</li> <li>●植込み型心臓ペースメーカーや植込み型除細動器を装着し、自宅などで療養中の場合は、使用前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどに確認する(医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります)。</li></ul> |
|---|

## 保証書とアフターサービスについて

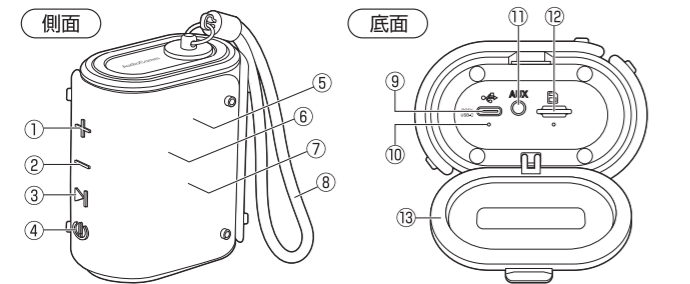
## 保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、「記載内容及び販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

### アフターサービスについて

- 調子が悪いときは：修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。
- 保証期間中は：保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間が過ぎた場合は：修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

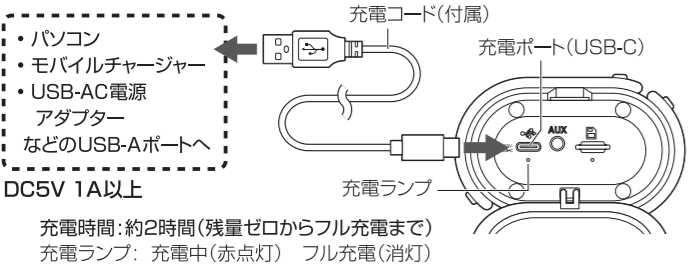
## 各部の名称



- ①音量／スキップボタン(+)
- ②音量／スキップボタン(-)
- ③再生／一時停止ボタン
- ④電源／モードボタン
- ⑤インジケータ
- ⑥マイク
- ⑦スピーカー
- ⑧ストラップ
- ⑨充電ポート(USB-C)
- ⑩充電ランプ
- ⑪AUX IN端子
- ⑫microSDカードスロット
- ⑬ポートカバー

## 充電のしかた

底面のポートカバーを開け、付属の充電コードを使って、充電ポートとパソコンなどのUSBポートなどを接続します。充電が始まると充電ランプが赤く点灯し、完了すると消灯します。



- パソコン
- モバイルチャージャー
- USB-AC電源アダプター
- などのUSB-Aポートへ

- 充電コード(付属)
  - 充電ポート(USB-C)
  - 充電ランプ
- 充電時間：約2時間(残量ゼロからフル充電まで)  
充電ランプ：充電中(赤点灯) フル充電(消灯)
- ヒントとご注意**
- はじめてお使いになるときは、十分に充電してからご使用ください。
  - 充電中でも使用可能ですが、充電にかかる時間が長くなります。また、音量が多少不安定になることがあります。故障ではありません。
  - 充電には必ず付属の充電コードをご使用ください。また、付属の充電コードは他の製品には使用しないでください。
  - PD対応充電器では充電できませんのでご注意ください。
  - 本機をパソコンで充電するには、電源供給ができるUSBポートに接続する必要があります。また、本機とUSBポートは直接つないでください。USBハブなどを介してつなぐと正常に充電されません。
  - パソコンが省電力モードになると正しく充電されませんのでご注意ください。
  - 家庭用コンセントで充電する場合は、別売のUSB-AC電源アダプターをご使用ください(DC5V 1A以上、PD非対応)。
  - 残量ゼロからフル充電まで約2時間かかります。十分に充電したにもかかわらず持続時間が半分程度になった場合は、電池の寿命と考えられます。
  - 許容動作環境(温度：5～35℃、湿度：35～80% 結露なしにて)を逸脱した環境下で充電した場合、充電が完了していてもLEDランプが消灯することがあります。適正な環境下で再度試し、それでも問題が解決しない場合は弊社お客様相談室にご連絡ください。
  - 長期間使わなかったときは電池の持続時間が短くなる場合がありますが、何回か充放電を繰り返すと、十分に充電できるようになります。電池の寿命を延ばすため、未使用時でも3ヶ月ごとに充電し直すことをおすすめします。
  - 使用中に電池残量が少なくなると、間隔を置いて電子音が鳴るようになります。しばらくすると電源が切れますので、すぐに充電してください。

## 電源のオン／オフ

- 電源／モードボタンを長押しすると、電源が入ります。
- 起動音に続いて電子音が流れ、インジケータ(青)が点灯します。その後、すぐにインジケータ(青)は点滅に変わり、サーチモード(接続可能なBluetooth機器を探している状態)になります。
- はじめて使うときは、ペアリングが必要です。「ペアリング(初期登録)のしかた」を参照して操作してください。

- 電源が入っているときに電源／モードボタンを長押しすると、電源が切れます。
- 終了音が流れた後、電源が切れます。インジケータも消灯します。

## モードの切換方法

- 電源が入っているときに電源／モードボタンを短く押すとモードを切り換えることができます。
- 押すたびに電子音が鳴り、Bluetoothモード、microSDカードモード、AUX INモード(外部音声入力)の順で切り換わります。
- ただし、microSDカードモードはmicroSDカード装着時のみ選択でき、装着していないときは、Bluetoothモード⇔AUX INモードの切替となります。
- いずれの場合もインジケータが点灯します(Bluetoothサーチモード時は速く点滅します)。

## ペアリングのしかた

初めての機器とBluetooth接続するときは、必ずペアリング(本機と相手側機器を相互に初期登録する操作)してください。

- ペアリングするときは、相手側機器の電源が入っている状態で、本機と約1m以内(障害物なし)に近づけてください。
- 本機または相手側機器が別の機器とBluetooth接続中は、ペアリングできません。既存の接続を解除したうえでペアリングしてください。
- 本機はBluetooth標準規格 Ver.5.3(プロファイル：HFP、A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、それらのいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

- 1 本機の電源を入れます。
- 電源を入れると、インジケータ(青)が速く点滅してサーチモードになります。

- 2 相手側機器で本機を登録します。

**Bluetooth の設定画面を開く**

iPhone：[設定]→[Bluetooth]

Android：[設定]→[Bluetooth]

[設定]→[無線とネットワーク]→[Bluetooth設定]

上記は参考例です。各機器付属の取扱説明書などを参照して、Bluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

- 本機を登録する

相手側機器のBluetooth設定画面で、本機の名称「ASP-W180N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスワードを求められた場合は「0000」と入力してください。  
※機器によってはご自身で設定されたパスワードが必要な場合があります。

- 本機との接続が完了すると…

電子音が流れてインジケータ(青)が点灯に変わります。相手側機器で再生などの操作をしてください。種類やアプリによっては、本機の再生／一時停止ボタンで再生を始められる場合もあります。

- ヒントとご注意
- サーチモードのまま約10分経つと、ペアリングがキャンセルされて電源が切れます。必要に応じて最初からやり直してください。
- 最後に使用したペアリング済み相手側機器の電源が入っており、Bluetooth接続が可能な状態のときは、本機の電源を入れると、自動的に接続されます。ただし、機種によってその都度接続操作が必要な場合は、機器付属の取扱説明書などを参照し、本機との接続を確立してからお使いください。
- 使用中に接続が途切れたり、正常に動作しなくなったときは、相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れていないかを確認してください。その後、本機及び相手側機器の電源を入れ直して、正常に戻るか確認してください。それでも改善されない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、ペアリングし直してください。
- 意図しない機器と接続されてしまう場合は、その機器の電源を切るかBluetooth機能をオフにしてから操作をやり直してください。

## Bluetooth再生に関するボタン操作

Bluetoothで接続しているときの各ボタンの機能は、以下のとおりです。ただし、相手側機器の種類やアプリによっては、動作が異なっていたり、操作できない場合があります。

| ボタン             | 短く押す    | 長押し                            |
|-----------------|---------|--------------------------------|
| ⊕ 音量／スキップボタン(+) | 音量を上げる  | 次の曲を再生                         |
| ⊖ 音量／スキップボタン(-) | 音量を下げる  | 曲の先頭に戻って再生。続けてもう一度押すと、1つ前の曲を再生 |
| ⏮ 再生／一時停止ボタン    | 再生⇄一時停止 | 音声アシスタントを起動                    |
| ⏻ 電源／モードボタン     | モード切替   | 電源を切る                          |

- ヒントとご注意
- 周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を与えるおそれがありますので、大音量で聴き続けしないでください。また、大音量で使い続けると本機の寿命が短くなります。
- Bluetooth接続中は、再生していない状態が続いても、本機の電源は自動で切れません。使い終わったら、必ず本機の電源を切ってください。
- スマートフォンなどと接続中に再生／一時停止ボタンを2回続けて押すと、再生中、一時停止中に関係なく、電話のリダイヤル操作になりますのでご注意ください。

## 通話に関するボタン操作

スマートフォンなどとBluetooth接続中に着信があると、以下の操作ができます。

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 電話に出る   | ⏮ 再生／一時停止ボタンを押す                       |
| 通話を終了する | ⏮ 再生／一時停止ボタンを押す                       |
| 音量を上げる  | ⊕ 音量／スキップボタン(+ )を押す                   |
| 音量を下げる  | ⊖ 音量／スキップボタン(- )を押す                   |
| リダイヤル   | ⏮ 再生／一時停止ボタンを2回続けて押す(直近の発信先にリダイヤルします) |

- ヒントとご注意
- 機種やアプリによっては、動作が異なっていたり、操作できない場合があります。
- 音楽などを再生中に電話に出たときは、通話を終了すると、再生を再開します。
- スマートフォン側で電話に出たときは、本機を使ったマイク通話や操作ができないことがあります。その場合は、スマートフォン側で操作をしてください。

## microSDカードの操作方法

- 1 電源が切れた状態でポートカバーを開け、microSDカードスロットにmicroSDカードを装着します。
- カチッと音がするまで爪先で押し込んで指を離してください。
- 2 電源を入れた後、電源／モードボタンを押してmicroSDカードモードに切り換えます。
- モードを切り換えると、microSDカードの再生が自動で始まります。「モードの切換方法」参照)。
- 3 終了するときは、電源／モードボタンを長押しして電源を切ります。
- microSDカードを取り出すときは、カチッと音がするまで爪先でいったんカードを押し込み、出てきたカードをつまみ上げてください。
- データを破損するおそれがありますので、microSDカードを取り出すときは、必ず事前に電源を切るか、電源／モードボタンを押して他のモードに移行してください。

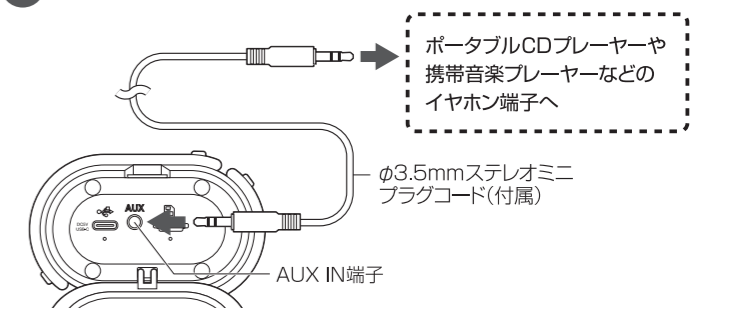
microSDカード再生時のボタン操作

| ボタン             | 短く押す    | 長押し      |
|-----------------|---------|----------|
| ⊕ 音量／スキップボタン(+) | 音量を上げる  | 次の曲を再生   |
| ⊖ 音量／スキップボタン(-) | 音量を下げる  | 1つ前の曲を再生 |
| ⏮ 再生／一時停止ボタン    | 再生⇄一時停止 | —        |
| ⏻ 電源／モードボタン     | モード切替   | 電源を切る    |

## 外部音声入力(AUX)を使う

ポータブルCDプレーヤーや携帯音楽プレーヤーなどの外部スピーカーとして使うことができます。

- 1 本機及び外部機器の電源が切れている状態で、図のように接続します。



- 2 本機及び外部機器の電源を入れた後、電源／モードボタンを押して、AUX INモードにします。
- 「モードの切換方法」を参照してください。
- 3 外部機器側で再生などの操作をします。
- 再生中に本機の再生／一時停止ボタンを押すと、消音します。もう一度押すと元に戻ります。
- 4 音量を調節します。
- 音量の上げすぎにご注意ください。
- 音量調節は外部機器と本機のどちらでも可能ですが、本機側を上げすぎると、他のモードに移行したときに、思わぬ大音量になることがありますので、バランスをとりながら調節してください。
- 5 終了するときは、再生を止めて双方の電源を切ります。
- 双方の電源を切るか、他のモードに切り換えた後、接続を解除してください。

## 故障かなと思ったら

- 充電できない
- 充電コードが正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。
- 付属品ではない充電コードを使用していませんか。
- パソコン接続時：パソコンがスリープモードになっていませんか。
- 電源が入らない
- 十分に充電しましたか。
- 電源／モードボタンを長押ししましたか(短く押ししていませんか)。
- ペアリングができない・Bluetooth接続ができない
- 本機及び相手側機器の電源は入っていますか。
- 相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。
- 相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
- 本機または相手側機器が、他の機器とBluetooth接続していませんか。
- 相手側機器がスリープ状態になっていませんか。
- 相手側機器内で本機の登録が削除されていませんか。
- Bluetooth接続時にノイズやエコー音がる
- 相手側機器との間に障害物があったり、距離が離れすぎていませんか。
- 無線通信を阻害する電磁波や無線LAN環境の近くで使用していませんか。
- 音が出ない
- 電源が入っていますか。
- モードが正しく選ばれていますか。
- 音量が最小になっていませんか。
- Bluetooth接続時：
  - ・ペアリングしましたか。
  - ・相手側機器の音量が最小または消音になっていませんか。
  - ・相手側機器との接続が解除されていませんか。
- microSDカード時：
  - ・メディアの規格やファイル形式は本機の仕様に対応していますか。
  - ・本機対応外のファイルが含まれていたり、フォルダ数やファイル数が多すぎませんか。
- 外部機器接続時(AUX IN)：
  - ・φ3.5mmステレオミニプラグコードが正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。
  - ・外部機器の電源は入っていますか。再生が停止または一時停止していませんか。
- microSDカードを差し込めない
- カードを差し込む向きは正しいですか。